

令和4年度 経営協議会における学外委員からの意見とその対応

開催日	学外委員からの質疑・意見	その後の対応・検討状況
<p>令和4年度 第4回 令和4.12.15 (木)</p>	<p>外部資金等の獲得方策について</p> <p>○ 外部資金の獲得に向け、大学での取組のアピールをして寄附金を募るなど、積極的に進めるべきではないか。</p>	<p>○ 大学での取組をアピールして外部資金を獲得するネーミングライツ、未来基金の各事業を実施するとともに、クラウドファンディングの新規案件開始に向けて準備中である。また、その他の外部資金の獲得に係る新規取組も積極的に実施している。</p> <p>(令和4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネーミングライツ（新規3件） ・未来基金に150周年記念事業メニューを追加 ・学生団体SAGAによるクラウドファンディング ・そのほか、リサイクル募金開始、未来基金クレジットカード決済導入、LINEスタンプの制作・販売開始など <p>(令和5年度予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の成績開示手数料の有料化 ・遺言信託業務協定書の締結 ・附属学校園支援事業基金（仮称）の創設
	<p>○ 全ての先生方の専門領域を活用した企業等とのマッチングについて、具体的にどのような形でマッチングを図る予定か。マッチングの方策を決めていかないと受託研究や共同研究につなげるのは難しいところがある。</p>	<p>○ 連携協定を締結している企業に対し、本学所属教員の研究分野、SDGsの対応状況を提供し、本学の教員の情報を企業に知っていただくことから始めていく方針とした。また、マッチング事業を展開している企業を介して共同研究の実施も進めたいと考えている。</p>
<p>令和4年度 第4回 令和4.12.15 (木)</p>	<p>自治体と受託研究・共同研究を行うことについて</p> <p>○ 地方自治体に対して過去の大学の受託研究の内容や成果を説明して、マッチングを図ったらどうか。</p>	<p>○ 地方自治体からの依頼に基づいた過去の受託研究について事例を整理した。事例については引き続き整理し、発信方法等についても検討を進めていくこととする。</p>